

# おとがわ 町家緑道

デッキと芝生でつながる乙川中央緑道

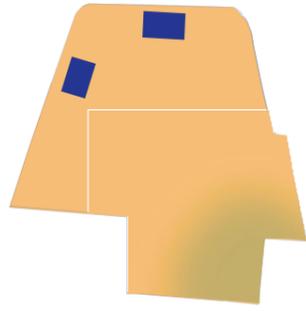
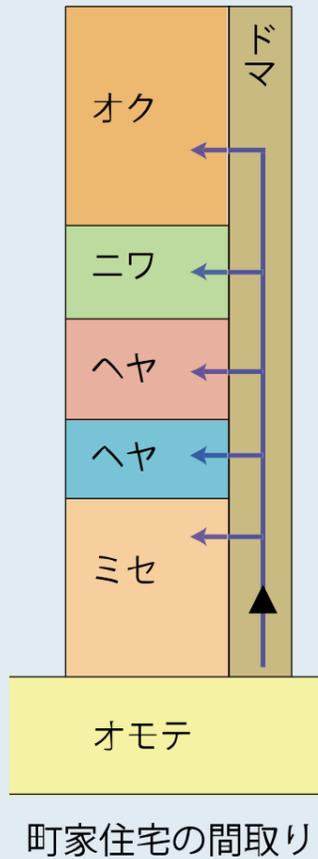


## 岡崎・康生の賑わい拠点となるための6つのコンセプト

- 1 大きな町家と見立てた“町家緑道”
- 2 人道橋と統一感あるウッドデッキの木装緑道
- 3 日常時とイベント時で使い方の異なる転遷緑道
- 4 一時避難拠点としての防災緑道
- 5 徳川四天王像が見守る歴史緑道
- 6 人と街を繋ぐ回遊緑道

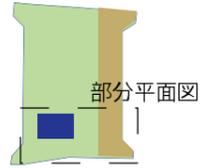
## ■デザインモチーフ

人道橋から籠田公園までの中央緑道を一つの大きな町家住宅と見立て、賑わいあふれる緑道空間を提案します。



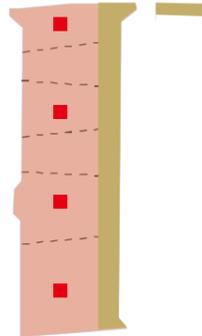
### F: 籠田公園エリア

大人数のライブやイベント等に利用できます。



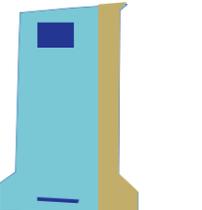
### E: こかげエリア

木々に囲まれた静かな空間でくつろぐことができます。



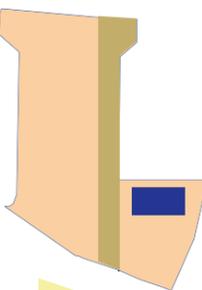
### D: 四天王エリア

四天王の名前の付いた小スペースで様々な活動ができます。



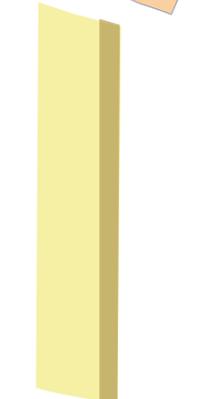
### C: ステージエリア

パブリックビューイングやワークショップ等に利用できます。



### B: エントランスエリア

緑道の案内所があり、訪れた人々を出迎えます。イベント時にはメイン会場になります。



### A: 人道橋エリア

イベント時には多くの出店が出店し、多くの人々でにぎわいます。

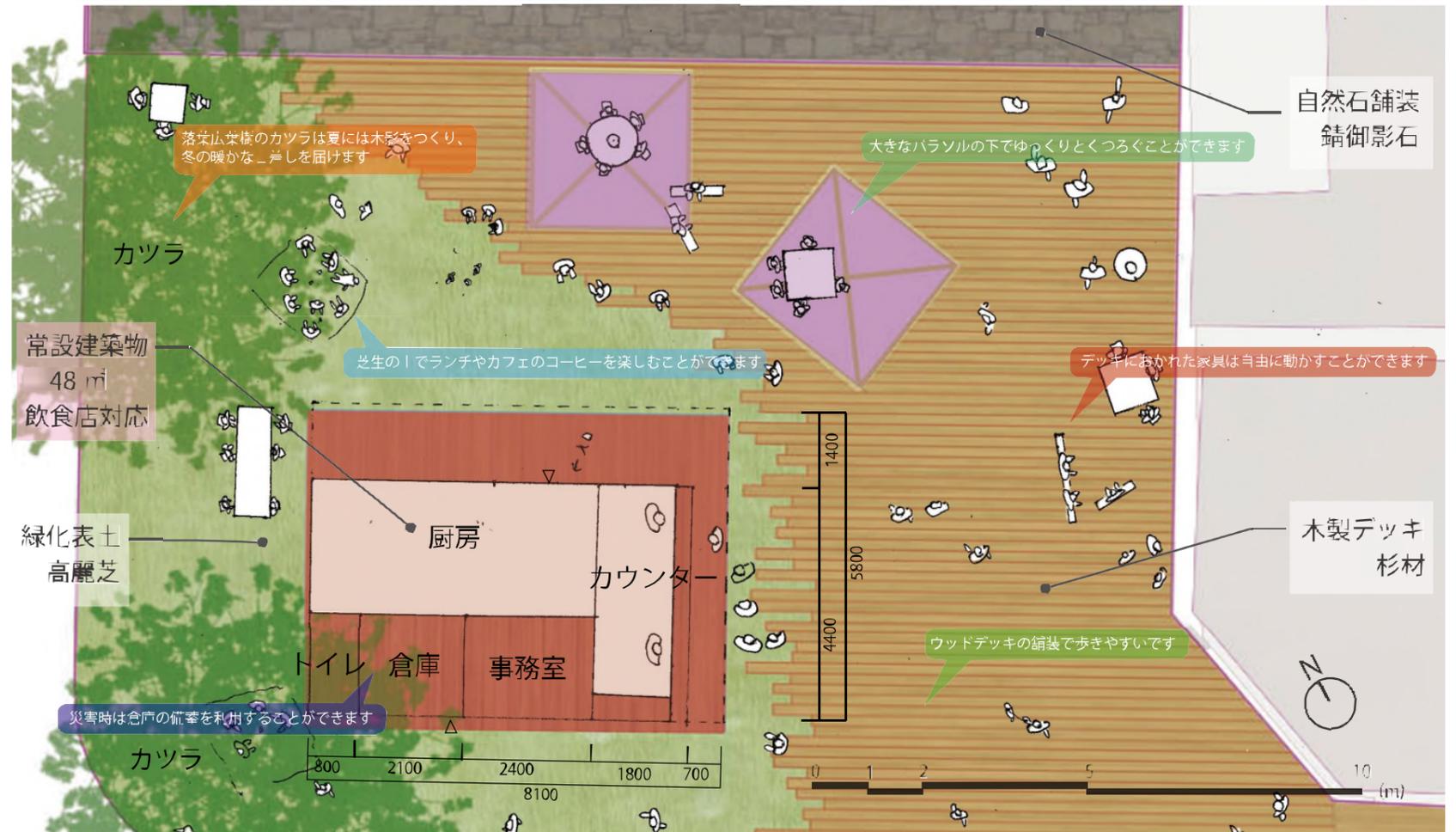
- 四天王像
- 常設建築物

## 1 大きな町家と見立てた“町家緑道”

岡崎は古くから城下町、宿場町として発展し、多くの町家が軒を連ねた街道沿いの賑わいは日本有数でした。現在もその史跡は市内の至る所に残り、岡崎市民に受け継がれています。岡崎の奥深い歴史や文化の要素を本計画にも取り込み、未来に継承することを目指します。

町家を緑道全体のデザインモチーフとしました。町家はオモテからオクに続く通り土間があり、土間に並列するように部屋が配置される間取りになっています。人道橋から籠田公園までの緑道を一つの大きな町家と見立て、川辺の玄関から奥座敷の公園まで続き土間を配置し、使い方の異なる6つのエリアを計画しました。

### Eエリア 部分平面図



## 2 人道橋と統一感あるウッドデッキの木装緑道

木装橋として建設が予定されている人道橋と一体感を持った緑道空間とするため、ウッドデッキによる続き土間としました。ぬくもりのあるウッドデッキの舗装によって土間は歩きやすく、各所のベンチやパラソルの下で休むことができます。ウッドデッキの上にはパーゴラを設置し、藤などを植栽することで木陰を作りつつ、岡崎らしさを演出します。

### 岡崎藤まつり

岡崎公園南側の藤は「五万石藤」と呼ばれ毎年4月下旬から5月上旬まで、その甘い香りに多くの人々が訪れています。



### C: ステージエリア

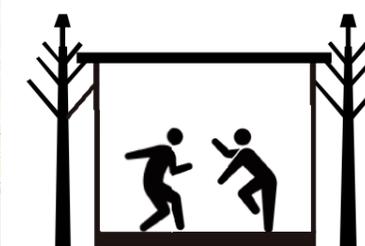


市民のコミュニティーを形成するパブリックビューイング

## 3 日常時とイベント時で 使い方の異なる転遷緑道

ステージエリアではアクティブな活動ができる大きな空間と仮設のスクリーンが設置しており、大人数によるワークショップや休日には映画の上映会ができます。オリンピックやワールドカップの時にはパブリックビューイングとして使うことも可能です。音楽フェスティバルやクリエイターズマーケットの際には、緑道上に多くの出店ブースが並びます。籠田公園をメイン会場とし、ステージエリアはサブステージとして機能します。

### F: 籠田公園エリア



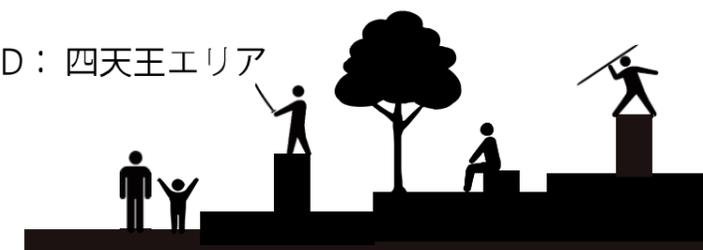
日常：広場  
イベント：ライブステージ

### E: こかげエリア



日常：ガーデンカフェ  
イベント：リラックススペース

### D: 四天王エリア



日常：ワークショップスペース  
イベント：小ステージ

### C: ステージエリア



日常：パブリックビューイング  
イベント：一時避難所

### B: エントランスエリア

日常：インフォメーション  
イベント：メインイベント会場

### A: 人道橋エリア

## 4 一時避難拠点としての防災緑道

緑道に設置されたトイレや常設のカフェ及び仮設建築物は通常時、公園施設として機能し賑わい創出します。災害時には緑道は一時避難場所として活用でき、これらの公園施設は避難活動を手助けするインフラとして機能します。カフェ

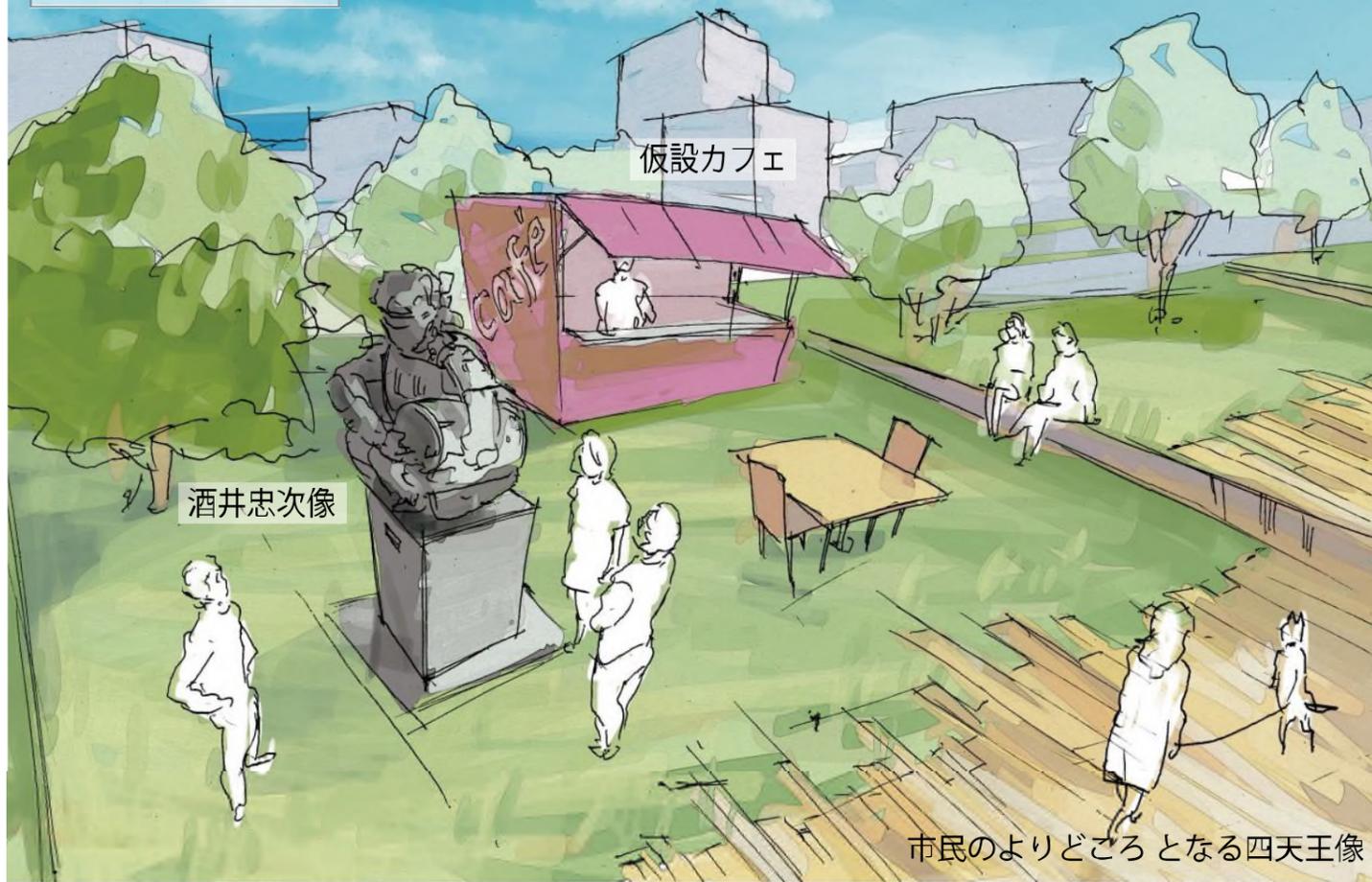
では炊き出しを行い、トイレは災害時にも対応しています。散歩の途中で休憩したり、イベント等で普段より緑道を利用することで、災害時にスムーズな避難が可能になります。



公園施設と機能する

インフラとして機能する

## D: 四天王エリア



## 5 徳川四天王像が見守る歴史緑道

四天王エリアには、石都・岡崎の伝統技術を活かし、かつて徳川家康の側近として仕えた酒井忠次・本多忠勝・榊原康政・井伊直政の4人の武将の石像を設置します。段上にはそれぞれの武将を配置し、「忠勝ゾーン」、「直政ゾーン」というように愛称を付け、市民の方々が親しみをもって歴史に触れることができる空間を計画します。親子や少人数で遊んだり、岡崎の職人によるレクチャーを開いたりして、学びの空間にもなります。

井伊直政



【関ヶ原の戦い(1600)】

榊原康政



【三河一向一揆(1563)】

本多忠勝



【三方ヶ原の戦い(1572)】

酒井忠次



【三方ヶ原の戦い(1572)】

## B: エントランスエリア



## 6 人と街を繋ぐ回遊緑道

以前は商業の中心地であった康生地区は大型商業施設の郊外移転によってかつての賑わいを失いつつあります。緑道が東岡崎駅や乙川周辺から康生地区に観光客を導くことで、岡崎シビコやLibra、岡崎城を含めた回遊性のある街、岡崎になることを目指します。ジャズフェスティバルやクリエイターズマーケット等のイベント時には多くの人々を出迎えるゲートとして観光客をもてなします。

